

シンプルに考えること ～指導の焦点化～

ハイライト：

- ・シンプルに考えること
～指導の焦点化～
- ・説明文で身に付けさせる
読み方
- ・豊原先生の授業では、要
旨を深める姿を
- ・低・中学年部会での授業
づくり
- ・授業整理会は、次のよう
に進めます。

シンプルに考えること ～指導の焦点化～

1 学期から公開授業と授業参観指導を積み重ねてきて、国語や算数の授業づくりが充実してきました。先に授業をされた先生方のよさや課題を生かし、よりよい授業を生み出していくために、様々な手だてが工夫されていました。

これは、研究を推進していく立場にある私にとって、とてもうれしいことですし、先生方の研究に取り組む真摯な姿勢に改めて感謝しています。

本年度の主題研究は、教科ごとの具体的な手だてを提示せず、組織マネジメントに重点を置いてすすめてきました。このような新しいスタイルの中で授業づくりを行ってきましたが、先生方の指導力は、これまでの努力が反映され、着実に高まっています。また、それに対応して、子どもたちの学びも高まっています。

しかし、課題も明らかになってきま

した。様々な手だてが実践されてきたことで、先生方のめざす子ども像が高まり、1つの授業に多くのものを求めていく傾向がでてきたことです。

より高い目標をもって、高いレベルの授業を行っていくことは大切なことです。しかし、一度にたくさんのことを達成しようとするとうまくも歪みができます。「二兎を追うものは一兎をも得ず」になっていませんか。

たくさんの情報の中から、必要な情報を選んでいくことが、今の久原小学校に必要なことではないでしょうか。

その選択の根拠となるものが、学習指導要領に示されている指導事項と国立教育政策研究所から示されている評価規準となります。

授業の目標をシンプルに考えて、指導を焦点化し、子どもにとっても、教師にとっても、わかりやすい授業をつくっていきましょう。

説明文で身に付けさせる読み方

説明文で身に付けさせる読み方の学年の系統表を、改めて振り返ってみましょう。どの学年も、現在、説明文の学習を行っていますが、この表に整理されている基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせていることができますか。これは、テストだけで評価できるものではありません。日常の授業の中で、指導者が意識することができていれば、子どもたちがノートに表現したものからも見取れ、授業改善につながります。

意見・自分の考え	意味づける 価値づける	「統合する・条件づける」思考	6年	高学年
要旨・意図			5年	
文章の組み立て	方法を知る 多様性を知る	「分ける・関係づける」思考	4年	中学年
内容の要点			3年	
文章の順序	体験する 楽しむ	「並べる・比べる」思考	2年	低学年
内容の大体			1年	

豊原先生の授業では、要旨を深める姿を

11月21日に5年1組で公開授業を行います。今回も、部研として行っていきます。授業は全職員で参観していきます。授業整理会は、高学年部会のみで行います。講師として福岡教育事務所指導主事 木庭竜之助先生にご指導いただくことになっています。

今回の豊原先生の授業は、「要旨を深める」がキーワードになります。

1学期の公開授業の授業整理会において木庭先生から、指導事項に応じた言語活動を設定していくことが大切だとご指導いただきました。

今回の豊原先生の授業での指導事項は、「目的に応じて、文章の内容を的確

に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること」となります。特に下線の部分を重視した授業となります。

では、この指導事項を達成するための言語活動は、何でしょうか？

本時の言語活動は、個でまとめている不十分な要旨を、グループ交流および全体交流で付加・修正・強化していくことになります。

よりよい要旨に深めていく言語活動が、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえるという指導事項の達成につながっていくことになります。



スキル学習と
思考力を高める
学習との
バランスが
大切です。

低・中学年部会での授業づくり

11月21日の授業整理会時、低・中学年部会は、それぞれの部会で授業づくりを行っていきます。

今回は、各部会での公開授業及び授業参観がありませんので、各学年の学力向上プランを達成していくためのより具体的な方策を検討していきます。

これまで主題研究で取り組んできた授業づくりと学力向上プランで計画している手だてが関連したものになっていけば、本校で進めている主題研究の価値が、より高いものとなります。

算数の学習において、計算練習等のスキル学習は欠かせないものです。し

かし、スキル学習は、計算に限ったものではなく、言語で説明したり、図形の作図をしたりすることも必要なスキル学習です。

また、主題研究で重視している説明する活動や解釈する場を、単元のどの時間で重点化していくか検討していくことも必要です。子どもの実態に応じて、スキル学習の内容を検討し、思考力を高める授業とのバランスをとっていきましょう。

国語の学習においても、スキル学習の内容を工夫するとともに、言語活動を充実させていきましょう。

授業整理会は、次のように進めます。

司会（安部）記録（野口）	於：会議室
1 講師紹介（井上）	15：40
2 協議	15：40～16：10
3 指導助言	16：10～16：40
木庭指導主事	
4 謝辞・まとめ（井上）	16：40

※授業整理会参加者
高学年部（豊原・野口・安部・江崎・力丸）
研究主任・（他部会からの参加も可）

※公開授業写真（力丸）、研究通信（野口）